

第2次安曇野市スポーツ推進計画に係る第6回策定委員会 会議概要

1	委員会名	第2次安曇野市スポーツ推進計画策定委員会
2	日時	平成29年11月7日(火) 午後7時から午後8時30分まで
3	会場	安曇野市役所本庁舎3階 共用会議室306
4	出席者	古澤会長、加々美副会長、古屋委員、小池委員、鈴木委員、内田委員、古川委員、 太田委員、丸山委員、布山委員、宮澤委員、清水委員、一志委員、矢野委員 ※出席委員：14人
5	欠席者	二木委員、湯本委員、新井委員、古幡委員 ※欠席委員：4人
6	市側出席者	蓮井生涯学習課長、米倉スポーツ推進担当係長 スポーツ推進担当 平林主事、藤原主事 株式会社KRC 藤村室長
7	公開・非公開の別	公開
8	傍聴人	0人 記者 0人
協 議 事 項 等		
<b>1 会議の概要</b>		
(1) 開 会		
(2) あいさつ		
(3) 協議事項等		
①計画の素案について		
(4) そ の 他		
①今後のスケジュールについて		
<b>2 協議事項概要</b>		
●計画の素案について、項目ごと事務局から説明し、質疑応答を行った。		
<b>『I 計画に関する基本事項』について</b>		
【事務局】	計画策定の意義・目的、計画の性格と位置付け、計画の期間、国や県の計画の概要、本計画におけるスポーツのとらえ方について記載している。(詳細を説明)	
(以下、意見等)		
【委 員】	目次の「II 市民のスポーツとの関わりの現状の(2) スポーツの実施機会提供と施設利活用の状況」は「施設利用活用の状況」ではないか。 ⇒利活用という言葉は存在するので、訂正しない。	
【委 員】	2ページ中段「3. 計画の期間」に「①向こう10年程度を見据えての～」とあるが、「程度」はいらないのでは。 ⇒「程度」は削除	
【委 員】	4ページ下段の「ライフステージに応じた運動の必要性」の表について、スポーツ少年団の対象が小学生のみと表現されているが、厳密には高校生まで加入資格があり、中学生の参加者も一定数存在する。修正することはできるか。	
【事務局】	この表は長野県松川村保険活動計画等を参考したものであり、安曇野市健康づくり計画からの出典である。そのため修正することは難しい。	

『Ⅱ 市民のスポーツとの関わりの現状』について

【事務局】 安曇野市の現状について、アンケート結果をもとにまとめた内容となっている。市民のスポーツ実施率や施設利活用の状況、小中学生の体力の変化、「する」スポーツを支える体制、市民の望むスポーツ推進策等について記載している。  
(詳細を説明)

(以下、意見等)

【委員】 5ページ上段「1) 安曇野市民のスポーツ実施率の特徴」の表題が「◆第1次安曇野市ポーツ振興計画となっている。  
⇒スポーツに訂正

『Ⅲ 計画の目指すところ・目標』について

【事務局】 事務局案そして議論のたたき台として、将来像および基本目標を次のように設定した。  
将来像「笑顔あふれ活力みなぎる 健康スポーツ都市安曇野」  
基本目標①「市民の多様なライフスタイルに応じたスポーツ参加の促進」  
基本目標②「『する』スポーツを支える体制・しくみの充実」  
基本目標③「安曇野の魅力を活かしたスポーツによる絆・交流・活力の創出」  
(詳細を説明)

(以下、意見等)

【委員】 15ページの第2段落に、「人口減少、少子高齢化などに伴い、将来に向け不安やマイナスの要素が指摘される」という文章があるが、一番の柱になる将来像を述べる部分であるのだから、そういった後ろ向きなことは、ここには書かなくても良いのではないか。  
⇒再度検討する。

【委員】 15ページの第1段落と16ページの基本目標2が「ス ポーツ」になっている。  
⇒スポーツに訂正

【委員】 スポーツを「する」、「する」スポーツといった表現が使われているが、あまり使わない表現のように感じる。「行う」ではないのか。  
⇒国のスポーツ基本計画にも使われている言葉なのでそのまま使用する。

『Ⅳ 実現のための施策』について

【事務局】 前回の案から3つ削り、12項目とした。それぞれ現状と課題を述べ、目標指数と施策の展開を記載している。  
(詳細を説明)

※ スポーツ実施率について、今までは計画の目標数値にしようと考えていたが、国と基準が異なるため、扱わないこととした。ただ、第1次スポーツ振興計画や他のさまざまな計画において目標数値として扱われており無視することはできないため、参考値として扱うこととしたい。(国の調査では「釣り」等のレクリエーション的要素が強いものや介護予防のための軽運動までカウントに入っている。)

(以下、意見等)

【委員】 「総合公園体育館の整備」とあるが、その名称でいいのか。(23ページ)  
⇒新総合体育館に訂正

【委員】 廃止する施設として穂高プールが挙げられているが決定しているのか。(23ページ)

【事務局】 2、3年後のことは分からないが、10年後には廃止されていると言えるので入れた。再度検討する。

協 議 事 項 等

- 【委 員】 豊科南社会体育館や豊科武道館剣道場も廃止となっているが、確定なのか。(23ページ)
- 【事務局】 耐震の問題があるので廃止となる。
- 【委 員】 スポーツ少年団登録単位団名の一覧表に「豊科シニアバドミントン」とあるが、現在は活動していない。  
⇒削除
- 【委 員】 目標指数として「競技スポーツ体験会や教室の参加者数」とあるが、「競技スポーツ」が何を指しているのかわかりにくいので、想定している競技名を具体的に挙げた方が良いのでは。(20ページ)
- 【事務局】 その年によって異なると思うが、バドミントンとか卓球とかを想定している。競技スポーツが何を指すのか、どこかに説明があればわかりやすいかもしれないので、記載の仕方を検討する。
- 【委 員】 基本目標3で「安曇野の魅力を活かしたスポーツによる絆・交流・活力の創出」を掲げているのだから、カヌー、ハングライダー、ラフティング等の安曇野の自然や魅力を生かした内容について、記載をした方が良いのではないかと。(16ページ)
- 【事務局】 前川は県の管轄であるため、市の施設と同じように扱うことはできないという壁はある。また、30ページの「基本施策⑩豊かな環境を生かしたスポーツ交流」の項目で詳しく記載している。
- 【委 員】 総合型地域スポーツクラブの参加者目標数値として「1,000人」となっているが、高い目標であるなど感じる。既存のクラブに丸投げでは実現は難しいので、皆さんに協力してもらいながら実現に向けて頑張っていきたい。(28ページ)
- 【事務局】 新規クラブが立ち上がることが理想ではあるが、助成金が5年で終わってしまうことなどもあり、難しい。計画には記載されていないが、スポネット常念を基盤とし、各地域に支部を作ってやっていくことを思い描いている。
- 【委 員】 新総合体育館はいつ頃完成する見込みか。
- 【事務局】 平成32年の12月に完成予定で、平成33年の3月頃にオープンする予定である。
- 【委 員】 オープンに合わせてプロの試合を呼んだらいいと思うが、国内トップレベルの試合を開催するには、開催の4年前くらいに検討・打診する必要があるのでは、間に合わないのではないかと。
- 【事務局】 Vプレミアリーグのジェイテクトに安曇野出身の浅野選手がいるので、試合ができたらいいなとは思いますが、開幕が9月なので厳しい。
- 【委 員】 リーグの途中で良ければ試合を持ってくることは可能であると思う。
- 【事務局】 観客数の縛りもあるので厳しい部分もあるが、何らかの試合ができるようにしたい。
- 【委 員】 「スポーツ指導者講習会等の開催」とあるが、市でスポーツ技術の向上にまで取り組むことは難しいのでは。(25ページ)
- 【事務局】 個別の指導力を鍛えるようなものではなく、指導者の素質を養うことのできるような内容で今までやってきているため、今後もそういった方向で続けていく。

『V計画の推進及び進行管理』について

- 【事務局】 計画進行管理については、スポーツ推進審議会において進捗等を確認し、必要な場合には計画の見直しを行う。

【会議終了】

